

1 日本語初期指導 ラウンドテーブル 実践報告を引きつけ生かす

アドバイザー:大蔵守久 ファシリテーター:松波良宏

【1】2つの実践報告

今回は、①短期集中プレクラスの実践例を西尾市早期適応教室から、②通級方式によるセンター校の例を大阪市の阿倍野中学校から報告していただきます。この2つ以外にも多くの指導体制とそこから生み出される指導法がありますが、この2例と多くの点でつながるものがあるはずです。この2例を私たちが抱える課題に引きつけ、共に考えることができればと思います。

【2】話し合いの視点

実践報告から多くの示唆が得られ、話し合いが進められると思います。いま話されている話題が、どの視座の話題なのか、どのように自分に引き付けて考えるかの表示板にするために座標を作ってみました。日本語初期指導を軸に関連づけと掘り下げをしていきましょう。

いま話されている話題	どこでの話か・どう自分とつながるか				
	在籍学級	巡回指導	学内通級	学外通級	プレクラス
校内での体制・教員数					
指導時間					
クラス編成					
予算					
学級担任との連携					
全般的な情報収集					
研修の機会					
指導法の工夫					
教材作成・教材情報					
教科・学力					
進路・将来					
母語・アイデンティティー					
地域・ボランティア					

プレクラス方式

- ダブルスクールになって困ることは?
- 1クラス何人で? 手は足りる?
- 日本語力や学年の違いはどうカバー?
- 途中で入退級はないの?
- 途中で入級してきたときの班分けは?
- 教科は個別に指導?
- 1か月過ぎた頃から個人差が広がっていない?
- 母語どうして固まらない?
- 交通費は?
- 送り迎えは?

センター校方式

- どの時間に取り出すの?
- 学級担任との連絡はどうやって?
- 在籍校は頼りっぱなしにならない?
- 取り出した時間の教科はどうなる?
- 個別? グループ?
- 教科まで指導する時間はある?
- どれぐらいまで通級させるの?
- 退級の見極めは?

